

日本先天異常学会 会員各位

平素より大変お世話になっております。

本年度の第53回日本毒性学会学術年会では、新たなサテライト企画として Young Toxicologist Academy (YTA 2026)―毒性学の実務と研究をつなぐ若手・学生フォーラム―を開催いたします。

本企画は、毒性学分野における産官学の若手研究者と学生会員の交流・対話を促進することを目的として企画したものです。研究内容そのものに加えて、実務、キャリア形成、分野横断的なつながりについても若手～学生の集まりで率直に議論できる場を目指しております。

今年からの新規企画であるため、まだ十分にご認知いただいていない会員の先生方、若手研究者、学生の皆様も多いかと存じます。

そこでこのたび、より多くの皆様にご参加をご検討いただけるよう、フラッシュトーク発表の募集締切を延長することといたしました。

【変更前】2026年4月10日（金）

【変更後】2026年5月1日（金）

YTA 2026 では、産官学の若手研究者によるフラッシュトーク発表の後、少人数で直接意見交換を行うラウンドテーブルトークを予定しております。

若手研究者の皆様には、ご自身の研究や業務、キャリア観を発信いただく機会として、また学生の皆様には、毒性学分野における多様な進路や働き方に触れる機会としてご活用いただければ幸いです。

つきましては、産官学の若手研究者の皆様にも広くご登壇をご検討いただくとともに、学生会員の皆様、ならびに学生をご指導中の先生方におかれましても、ぜひ周囲の学生の皆様へご周知いただけますと幸いです。

YTA 2026 の詳細は学術年会ウェブサイト内下記ページをご参照ください。

<https://jsot2026.jp/contents/yta2026.html>

YTA2026 参加登録フォームはこちらです。学術年会とは別途に参加登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/Rn6dxisf9yL8mjm9>

本企画が、若手研究者・学生の皆様にとって、新たなつながりや視野の拡大につながる機会となれば幸いです。

ご関心のある皆様に、ぜひ積極的にご参加・ご案内いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

YTA 2026 実行委員会 一同